

- 関西エアポート株式会社は、ウイズ・コロナにおける旅客ニーズの変化（旅客ターミナルビル内の距離の確保、非接触・非対面化等）に対応するため、関西国際空港の旅客ターミナルの整備（ファストラベルの導入、出発エリアの拡大等）に取り組むことで、安心・安全を基礎とした旅客体験の向上へ繋げ、旅客ニーズの変化に対応した新たなサービスを提供する。
- これらの取組を通じて、関西国際空港が、2025年に開催される日本国際博覧会（大阪・関西万博）を控えた関西へのゲートウェイとしての重要な役割を果たすとともに、ウイズ・コロナ時代の国内外からの新規旅客の獲得等を図る。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

令和4年（2022年）4月～令和9年（2027年）3月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

計画終了年度のEBITDAマージンが、基準年度のEBITDAマージンを5%ポイント以上上回ることを目標とする。

3. 前向きな取組の内容

計画終了年度の新サービスの売上高が全体の売上高の1%以上となることを目標とする。

4. 支援措置

税制措置（繰越欠損金控除上限の特例）

<取組の内容のイメージ>

ファストラベルの導入

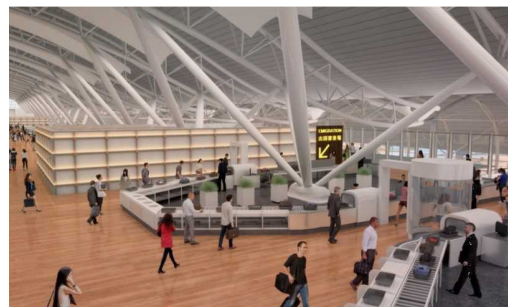


国内線 保安検査場（イメージ）

出発エリアの拡大



2階国際エアサイドエリア（イメージ）



国際線 保安検査場（イメージ）



旅客体験の向上（イメージ）